

# 全国社会的課題委員会



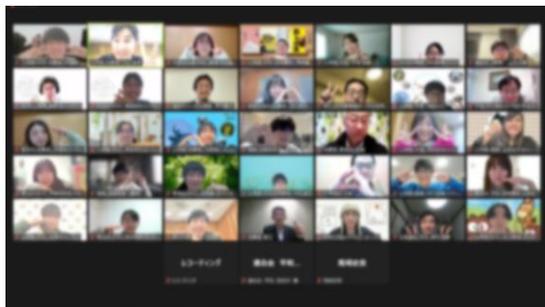
全国大学生協連  
学生委員会  
学生委員長 高橋明日香  
編集者 杉山直輝

23/2/19(日)

## 第1回全国社会的課題委員会

### 概要

名称：2023年度 第1回 全国社会的課題委員会  
日程：2023年2月19日(日) 10:00~18:00  
場所：オンライン(Zoom)での開催



### 参加者(敬称略)

- 委員長：後藤有里(慶応義塾生協 専務理事)
- 副委員長：木下高志(大阪大学生協 専務理事)
- 生協職員：吉山(中四事業連合専務)
- ブロック事務局：藤木(北海道BK)、伊藤、田中(東北BK)、戸張、山田(東京BK)、伴(東海BK)、出口・ソン(関西北陸BK)、福留、栗岩(中四BK)、吉村(九州BK)
- 階層別組織委員会：角田、林、原田、尾崎、金川、齋藤、高橋、鳥井、中川、松田、古橋、杉山、中野、加藤、中丸、梅田、平間、上木(全国学生委員)
- 全国大学生協連：中森(専務理事)、藤江・田足井(理事会室)、鹿住(JUON NETWORK)、古屋・村瀬(ブロック事務局長)

### チーム別協議の時間

全国社会的課題委員会(以下、全社委)の午前中のコンテンツとして、「環境」「平和・国際貢献」「激甚災害支援・防災」「消費者」の4つの分野を軸にしたチームに分かれ、具体的に討議をしました。それぞれのチームの様子は以下の通りです。

## 00 分野にわかれて 具体的に協議

#### a. 環境チーム

環境チームでは第1回目の顔合わせとして自己紹介を行いました。また、環境チームの目指す姿やあり方などを提起し、3~5月の間に環境チームとしてどんなことができるかを話し合いました。そして、環境チームとしてどんなことをしたいかというこの行動宣言を行いました。

最後に、環境活動について学習する場はどのようにあるべきかを話し合い、全国環境セミナーに代わる新しい学びの場について考えました。

#### b. 平和・国際貢献チーム

最初に自己紹介をした後、大学生協が平和について考える意義について考えました。「より良い生活と平和のため」に民主主義の原則にのっとって考えていくことが大切だと話すことができました。後半は、PN!プロジェクトの推進や選挙・国際貢献など幅広い視点から平和について考えました。「自分の地域(北海道)でも平和セミナーをやってみよう」、「日本は主権が国民にあるから、その権利を行使しないのはもったいない。もっと投票に行くべき」など、自分の考えを他のチームメンバーにしっかりと共有することができていました。

#### c. 激甚災害支援・防災チーム

はじめにチームについての説明をし、今年度どんなことを頑張っていきたいか、「防災」に対する個人の認識について意見交換しました。なかなか活動までのハードルが高い現状、楽しみながら活動に取り組んでもらえるヒントを見つけていきたいということを確認しました。

MottaCaや連合会HP「防災の心得」を各ブロックでどのように活用していけるか、3.11に合わせた発信などについても検討を行い、今後激甚災害支援・防災チームで推進していく準備ができました。

#### d. 消費者チーム

まず消費者分野の推進を通して、実現していく組合員の姿や今年度、全国として消費者被害防止とリスク講座に力を入れていくことを共有しました。次に、現状把握するために、昨年の消費者分野の取り組みと今回提出された地域報告に目を通しました。その後に、消費者被害防止に向けて何ができるか協議しました。そこでは「大学生のリスクについて、共済と一緒に消費者リスクについて説明するように促していきたい」などの意見を共有し合うことが出来ました。最後に5月の消費者月間にむけての取り組みを話し合いました。

# 01 年間の社会的課題推進について

## 今年度の社会的課題で力を入れていくこと

2023年度の社会的課題のテーマは、「**年間を通して、社会的課題を意識していきましょう。**」「**社会的課題×店舗の取り組みを軸に進めていきましょう。**」になりました。このテーマを基に各階層別ブロックで何ができるか協議しました。またほかに力を入れていきたいことや全国として推進していきたい「**食ロス**」についての協議することが出来ました。

### 社会的課題の推進(テーマ)

- ・年間を通して、社会的課題を意識していきましょう

→新学期や組合員交流など活動の中で、社会的課題の視点を意識し、定着化させていきましょう。また、総代会では会員協会の社会的活動について、振り返りましょう。

食ロスに興味がある人は多いと思うので、そういった人たちが取り組めるようにしたい。今行われている店舗の取り組みに、掛け合わせて何かできないかな。食ロスがなぜ悪いのかをみんな分かっているけど、実際に自分が改善しなきゃと思っていても、自分の生活にあまり影響がないと考えている人が多いと思う。(学生)

食ロスに関しては、すごく社会的には大きな課題だが、どこで何が問題になっているのかが大事だと思う。大学生協では購買店や食堂で起きていること。多いようであれば問題になるし、その時にどのような活動ができればいいかも考えられる。お店以外では組合員の一人一人の意識が大事。(職員)

### 社会的課題の推進(テーマ)

- ・社会的課題×店舗の取り組みを軸に強めていきましょう

→日常的な店舗利用から、組合員が社会に目を向ける工夫をしていきましょう。さらに身近な社会的活動の参加を促しましょう。

# 02 平和について

## 大学生協が平和について考える意義とは？

大学生協の理念は「組合員のよりよい生活と平和」。この理念が生まれた歴史や背景を学び、私たちがなぜ平和について推進するかを学びました。後半は具体的に私たちがどのように推進していきたいかについて議論しました。PN!を吸心していくかはもちろん、大学生ならではのアカデミックな視点からたくさんの意見が生まれていました

平和というか過去について学ぶということに意義があると思う。80年前の話なので、80年前に戦争に走って行って、こういう当たり前の生活ができない時期があったんだよと。大学生がたくさん戦場に行って亡くなってしまったという事実は考えていく意義はあると思う。(学生)

平和を考えようとしたときに、相手を差し伸べるのが第一歩かなと思っている。相手のことをどう考えて、気持ちを表すときに手を出すことで平和の状態を作れる。その手を差し伸べるときに、協同組合は色々な可能性を秘めている。(職員)

# + α 地域報告で報告された、注目する取り組みとポイント

## 環境

**岩手大学生協「総代MTでフードロスについて学習」**  
総代MTの場を活用し、総代と一緒に食堂のフードロス問題を考えることができました。日本を取り巻くフードロス問題から、大学生協の現状を総代に知ってもらいました。クイズ形式で総代に興味を持ってもらいやすくて、大学生協の抱える問題を簡単に、わかりやすく総代に知ってもらうことができました。

## 激甚災害支援・防災

**立命館生協(衣笠キャンパス)「知っトク！防災」**  
自分の身は自分で守るという目的のもと、消化器や防災スリッパ作成の体験、ハザードマップの掲示、災害時に有効な知識をまとめた資料配布を行いました。参加者が正しい防災の知識を獲得し、災害を自分事として捉えることができていました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



## 平和・国際貢献

**名古屋市立大学生協「服の回収企画」**  
「キャップdeワクチン」というシステムを利用することで、古着をワクチンに変えることができることを利用し、組合員から古着を回収しました。1人暮らしなどをしていても着なくなる服などは出てくるので、ただ捨てるだけでなく国際貢献につなげることができるのはとても素敵でした。

## 消費者

**横浜国立大学生協「入学準備説明で消費者リスクの説明」**  
早期合格者向けの入学準備説明でろうきんの方が、成年年齢引き下げに伴うリスクについて説明をしてもらいました。入学前に消費者リスクを把握することで予防をすることができました。また専門的な知識を持っている人が話す事で、あらゆる質問にも対応することができ、深い理解を得ることが出来ました。



政策討議を制作執行に  
に繋がります